

岐阜市の中学生「いじめ」「転落死」事件について

岐阜市の中学生の「転落死・いじめ」について、岐阜市教委は第三者委員会「いじめ問題対策委員会」を設置しました。柴山文科相も「必要な指導と助言を行っていく」と述べました。報告書は年末に出される予定との事です。

全国版で大きく報道されたこの事件について、**私たち教職員も校種を問わず「わがこと」として捉えるべきではないでしょうか。**

まず、ご遺族や当該校の生徒・保護者、学校関係者に最大限のケアがなされなければなりません。**生徒に動揺はないか、教職員は対応に追われていないか、とても心配です。**

報道では、「情報が共有されていない」「いじめ防止が機能していない」「学校が組織的に対応できていない」などの点を伝えています。なぜそうなったのか、**単に関わった教員や管理職、その学校の問題とだけ捉えるのではなく、背景や原因を究明し、根本的な解決を図ることこそ必要ではないでしょうか。**そうでなければ、「自分もこの先生のようになっていたかも」「自分の学校でも起こるかも」という不安を消せません。

原因として、まず**真っ先に教育現場が「忙しすぎる」**事があるのではないのでしょうか。教員が生徒に接する時間が少なくては、「いじめ」を発見する事も、生徒の声に耳を傾けることも不十分にならざるを得ません。

また、「忙しすぎる」「人手が足りない」ことは、**緊急時の対応が遅れる原因にもなります。**

次に、**管理職への報告がしづらい雰囲気**が**校内になかったか**を考える必要があります。岐阜市の早川教育長は「いじめ解決で、指導力を発揮するのが校長の一番の仕事だ」と述べていますが、学校によっては、**リーダーシップを発揮しようとする管理職が、しばしば“ワンマン”管理職になってしまっています。**そこから、「怒られることを恐れて報告しない」学校となっていないか考える必要があります。

さらに、報道はされていませんが、今回の当該校は「**研修校**」であることも**問題の原因**だったのではないかと考えられます。

岐阜県独自の「研修校」制度は、自ら希望した熱心な教員が赴任し、実践を通して優秀な教員を育成してきた、といわれています。

しかし、「研修校」にも様々な問題があります。まず、通常の学校業務に加えて、「研修」のために多くの時間がとられ、**教員は他校よりさらに忙しくなります。**さらに「実習校」ともなれば、実習生指導の業務も加わります。生徒と向き合う時間は十分にはとれません。

また、「研修校」には若い先生が集められる分、緊急時の対応に長けている**ベテラン層の比重が少ない**とも言えます。

何より、「**研修**」が**最優先されて、生徒への対応がとまれば後回しになりがち**です。

これを機に、「研修校」制度や各学校の研修のあり方を改善すべきではないでしょうか。

県内の研修校・実習校 [2011年現在]

【岐阜地区】◎長良小、◎加納小、◎長良西小、◎長良東小 ○柳津小、○黒野小、○竹鼻小、○那加第二小
○鶉沼第三小、○高富小、○牛牧小、○生津小、○席田小、○笠松小、○岐南・西小、◎岐大附属小
◎加納中、◎長良中、◎青山中、○岐北中、◎陽南中、◎東長良中、○竹鼻中、○高富中、○真正中
○北方中、◎岐大附属中（以上 27 校）

【西濃地区】○興文小、○大垣・東小、○中川小、○養老小、○垂井小、○関ヶ原小、○揖斐小、○温知小、○興文中
○大垣・東中、○日新中、○高田中、○不破中、○神戸中、○揖斐川中（以上 15 校）

【美濃地区】◎桜ヶ丘小、○美濃小、○八幡小、○桜ヶ丘中、◎美濃中、○白鳥中（以上 6 校）

【可茂地区】○太田小、○蘇南中（以上 2 校）

【東濃地区】◎養正小、○瑞浪小、○中津川・南小、○泉中、◎恵那西中（以上 5 校）

【飛騨地区】◎北小、◎日枝中（以上 2 校）

◎印は、研修校のうち、岐阜大学の教育実習生を受け入れる「実習校」と呼ばれる学校